



2026年9月14日



各位

会社名 東洋ドライループ 株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯野 光彦
(スタンダード・コード4976)
問合せ先 取締役管理部長 鈴木 茂生
電話番号 03-3412-5711

(訂正) 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について
(アップデート)」の一部訂正について

2026年9月11日付で開示いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について(アップデート)」について、一部訂正がございましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

記載の一部に漏れがありましたので、訂正致します。

2. 訂正の内容

資料5ページ「2-3. 具体的な取組：IR活動の充実」での記載を下記のとおり訂正いたします。(追記箇所を赤枠にて記載します)

【訂正前】

2-3.具体的な取組:IR活動の充実

- 株主、投資家向けの説明会を2月25日と9月2日に開催し、ホームページやログミーFinanceを通じて、情報発信を行いました。株主、投資家との対話、面談を年間10回実施しました。
- 事業所所在地のプロサッカーチームや花火大会、祭事等への協賛を通じて、知名度向上を図ってまいりました。

【訂正後】

2-3.具体的な取組:IR活動の充実

- 株主、投資家向けの説明会を2月25日と9月2日に開催し、ホームページやログミーFinanceを通じて、情報発信を行いました。株主、投資家との対話、面談を年間10回実施しました。
- 2026年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行いました。
- 事業所所在地のプロサッカーチームや花火大会、祭事等への協賛を通じて、知名度向上を図ってまいりました。

以上

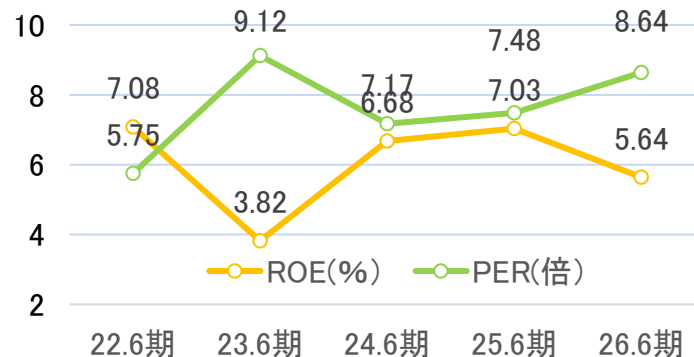
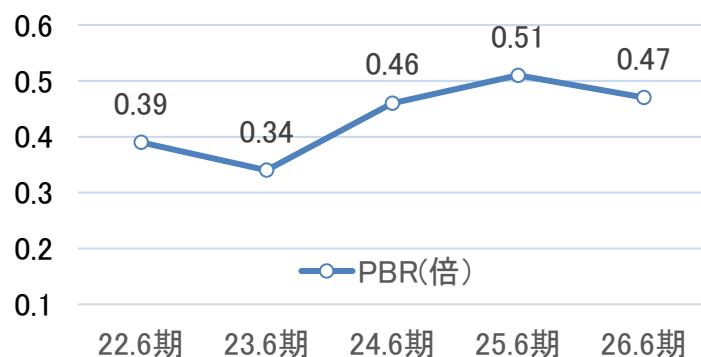
資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた取組み (アップデート)

東洋ドライループ株式会社
(証券コード:4976)

2026年9月11日

1.現状分析(連結)

- 当社のROE(自己資本当期純利益率)は、2025年度まで株主資本コストを下回る水準(2022-2026年度の過去5年平均は6.05%)であり、PBR(株価純資産倍率)は、同平均0.43倍となっており、いずれも横這いでの推移となっております。
- 一方で市場評価につきましては、直近5年継続してPBRが1倍を下回っていることから、株価は割安な水準で推移していると認識しております。



経営指標	22.6期	23.6期	24.6期	25.6期	26.6期
売上高[百万円]	3,666	3,869	4,699	5,194	5,412
経常利益[百万円]	741	421	807	976	916
純利益[百万円]	575	332	617	702	603
PBR[倍]	0.39	0.34	0.46	0.51	0.47
PER[倍]	5.75	9.12	7.17	7.48	8.64
ROE[%]	7.08	3.82	6.68	7.03	5.64

2.改善に向けた方針と目標

PBRの向上

ROEの
改善

1. 事業成長と収益力の向上(2-1項参照)

- PBRの改善は経営上の重要課題であるとの認識のもと、ROEの向上を目標とします。
- 設備投資、研究開発費、人的資本投資への成長投資を継続します。

2. 株主還元の強化 (2-2項参照)

- 累進配当を意識した株主還元を実施します。

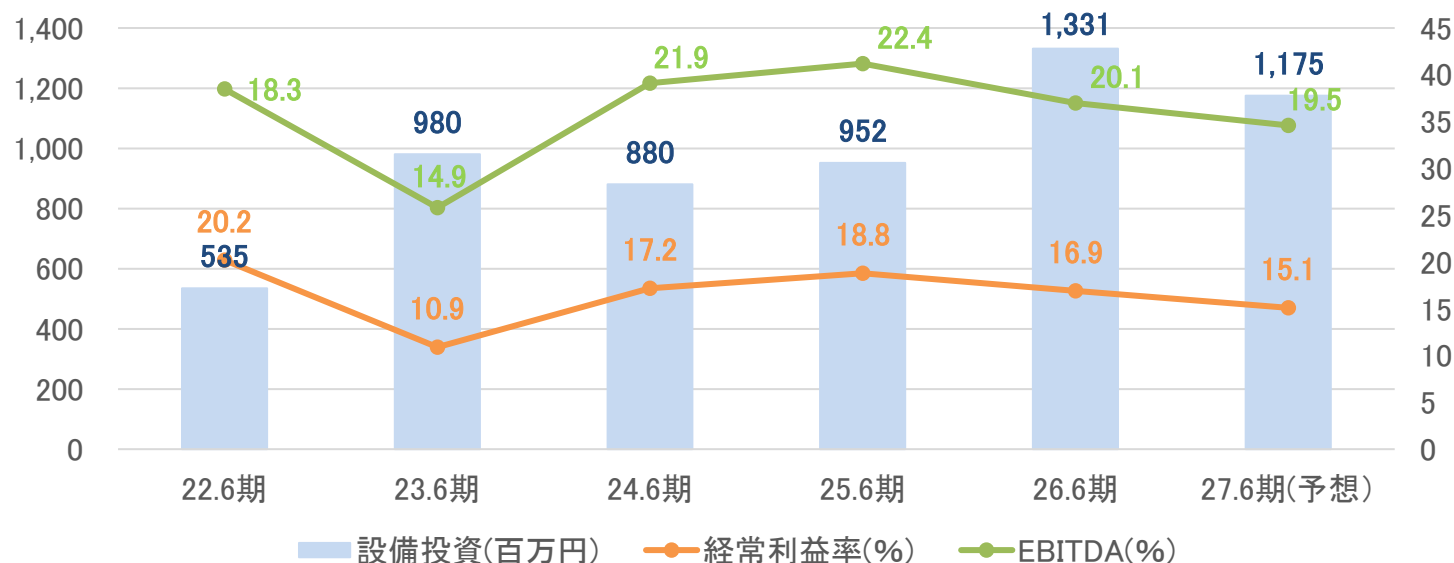
PERの
改善

3. IR活動の充実 (2-3項参照)

- 株主、投資家とのコミュニケーション機会を充実させ、積極的な情報発信を行います。

2-1.具体的な取組：事業成長と収益力の向上

- 営業開拓により事業成長を促し、生産性を高める設備投資の継続により、利益率の向上へ繋がります。

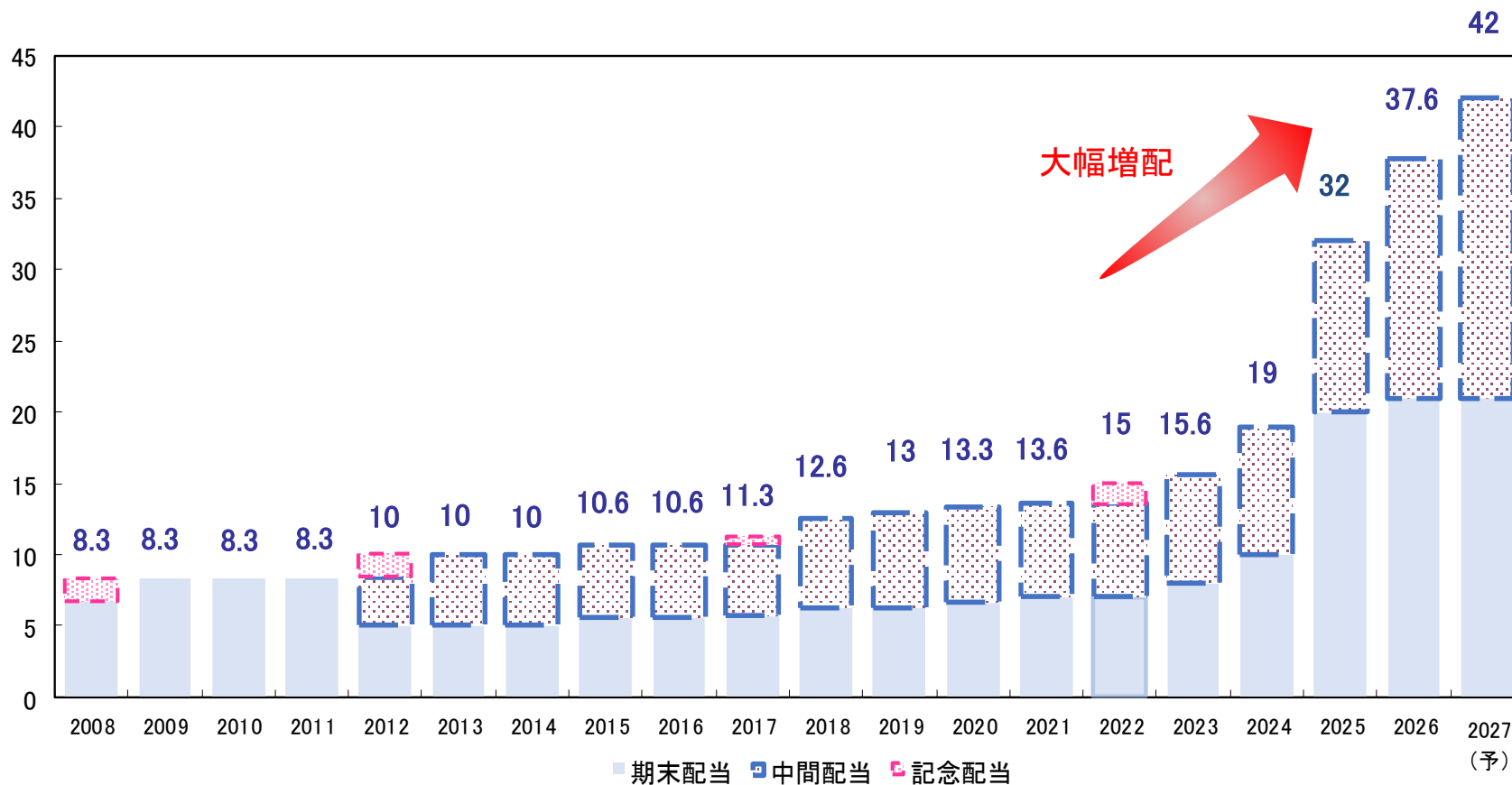


経営指標	22.6期	23.6期	24.6期	25.6期	26.6期	27.6期 (予想)
設備投資(百万円)	535	980	880	952	1,331	1,175
研究開発費(百万円)	101	111	117	114	139	159
経常利益率(%)	20.2	10.9	17.2	18.8	16.9	15.1
EBITDA(%)	18.3	14.9	21.9	22.4	20.1	19.5

2-2.具体的な取組：株主還元の強化

■上場以来続けている安定的かつ累進的な配当を、継続して実施いたします。

(円)



2-3.具体的な取組:IR活動の充実

- 株主、投資家向けの説明会を2月25日と9月2日に開催し、ホームページやログミーFinanceを通じて、情報発信を行いました。株主、投資家との対話、面談を年間10回実施しました。
- 2026年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行いました。
- 事業所所在地のプロサッカーチームや花火大会、祭事等への協賛を通じて、知名度向上を図ってまいりました。



スポンサー契約を締結しているスフィーダ世田谷FC(なでしこリーグ1部)ユースチーム



祭事協賛例:みのわ祭り(長野県)

- スタンダード市場に属する時価総額 60 億円前後の中小型株である当社は、機関投資家よりも個人投資家の売買が中心になっていると考えております。特に個人投資家に対するPR活動が重要であり、成長の可能性のある魅力的な投資対象として認知してもらえるように、事業内容・企業活動に対する情報発信や非財務情報の情報開示を充実させ、成長性に対する投資家の適切な理解を得られるようにIR活動を一層強化して参ります。